



レプリケーションポリシーをカスタマイズしま す

ONTAP 9

NetApp
April 24, 2024

目次

レプリケーションポリシーをカスタマイズします	1
カスタムレプリケーションポリシーを作成する	1
ポリシーのルールを定義します	2
デスティネーションでローカルコピーを作成するスケジュールを定義します	4

レプリケーションポリシーをカスタマイズします

カスタムレプリケーションポリシーを作成する

関係のデフォルトポリシーが適切でない場合は、カスタムレプリケーションポリシーを作成できます。たとえば、ネットワーク転送時にデータを圧縮したり、Snapshot コピーを転送するための SnapMirror の試行回数を変更したりできます。

レプリケーション関係の作成時には、デフォルトまたはカスタムのポリシーを使用できます。カスタムアーカイブ（旧 SnapVault）またはユニファイドレプリケーションポリシーの場合は、初期化と更新の際に転送する Snapshot コピーを決定する 1 つ以上の `_rules_` を定義する必要があります。また、デスティネーションでローカル Snapshot コピーを作成するスケジュールを定義することもできます。

レプリケーションポリシーの `_policy type_of` によって、サポートされる関係のタイプが決まります。次の表は、使用可能なポリシータイプを示しています。

ポリシータイプ	関係タイプ
非同期ミラー	SnapMirror DR
バックアップ	SnapVault
ミラー - バックアップ	ユニファイドレプリケーション
strict-sync-mirror のようになります	StrictSync モードの SnapMirror Synchronous （ONTAP 9.5 以降でサポート）
SyncMirror	Sync モードの SnapMirror Synchronous （ONTAP 9.5 以降でサポート）



カスタムレプリケーションポリシーを作成する場合は、デフォルトポリシーをモデルとすることを推奨します。

ステップ

1. カスタムレプリケーションポリシーを作成します。

```
snapmirror policy create -vserver SVM -policy policy -type async-  
mirror|vault|mirror-vault|strict-sync-mirror|sync-mirror -comment comment  
-tries transfer_tries -transfer-priority low|normal -is-network-compression  
-enabled true|false
```

コマンド構文全体については、マニュアルページを参照してください。

ONTAP 9.5以降では、を使用して、SnapMirror Synchronous関係の共通のSnapshotコピースケジュールを作成するスケジュールを指定できます `-common-snapshot-schedule` パラメータデフォルトでは、SnapMirror Synchronous 関係の共通の Snapshot コピースケジュールは 1 時間です。SnapMirror Synchronous 関係の Snapshot コピースケジュールの値は、30 分から 2 時間までの範囲で指定できま

す。

次の例は、データ転送のためにネットワーク圧縮を有効にする、SnapMirror DR 用のカスタムレプリケーションポリシーを作成します。

```
cluster_dst:> snapmirror policy create -vserver svml -policy
DR_compressed -type async-mirror -comment "DR with network compression
enabled" -is-network-compression-enabled true
```

次の例は、SnapVault 用のカスタムレプリケーションポリシーを作成します。

```
cluster_dst:> snapmirror policy create -vserver svml -policy
my_snapvault -type vault
```

次の例は、ユニファイドレプリケーション用のカスタムレプリケーションポリシーを作成します。

```
cluster_dst:> snapmirror policy create -vserver svml -policy my_unified
-type mirror-vault
```

次の例は、StrictSync モードの SnapMirror Synchronous 関係用のカスタムレプリケーションポリシーを作成します。

```
cluster_dst:> snapmirror policy create -vserver svml -policy
my_strictsync -type strict-sync-mirror -common-snapshot-schedule
my_sync_schedule
```

完了後

「vault」および「`m mirror vault」ポリシータイプの場合は、初期化および更新時に転送する Snapshot コピーを決定するルールを定義する必要があります。

を使用します `snapmirror policy show` コマンドを入力して、SnapMirror ポリシーが作成されたことを確認します。コマンド構文全体については、マニュアルページを参照してください。

ポリシーのルールを定義します

ポリシータイプが「vault」または「M mirror vault」のカスタムポリシーの場合、初期化および更新時に転送する Snapshot コピーを決定するルールを少なくとも 1 つ定義する必要があります。また、ポリシータイプが「vault」または「`m mirror vault」のデフォルトポリシーのルールを定義することもできます。

このタスクについて

ポリシータイプが「vault」または「`m mirror vault」のすべてのポリシーには、レプリケートする Snapshot コピーを指定するルールが必要です。たとえば、「bi-monthly」ルールは、SnapMirror ラベル

が「bi-monthly」に割り当てられた Snapshot コピーだけをレプリケートする必要があることを指定します。SnapMirror ラベルは、ソースでの Snapshot ポリシーの設定時に指定します。

各ポリシータイプは、システム定義の 1 つ以上のルールに関連付けられます。これらのルールは、ポリシータイプの指定時にポリシーに自動的に割り当てられます。次の表は、システム定義のルールを示しています。

システム定義のルール	ポリシータイプで使用されます	結果
sm_created	async-mirror、mirror-vault、Sync、StrictSync	SnapMirror で作成された Snapshot コピーが初期化および更新の際に転送されます。
all_source_snapshots を指定します	非同期ミラー	ソース上の新しい Snapshot コピーが初期化および更新の際に転送されます。
毎日	バックアップ、ミラー - ヴォールト	SnapMirror ラベルが「毎日」のソース上の新しい Snapshot コピーが初期化および更新の際に転送されます。
毎週	バックアップ、ミラー - ヴォールト	SnapMirror ラベルが「weekly」のソース上の新しい Snapshot コピーは、初期化および更新の際に転送されます。
毎月	ミラー - バックアップ	SnapMirror ラベルが「アース」の新しい Snapshot コピーがソースに転送され、初期化と更新が行われます。
APP_Consistent	Sync、StrictSync	SnapMirror ラベルが「app_consistent」の Snapshot コピーがソースからデスティネーションに同期的にレプリケートされます。ONTAP 9.7 以降でサポートされます。

「async」ポリシータイプを除き、デフォルトポリシーまたはカスタムポリシーに追加のルールを必要に応じて指定できます。例：

- をクリックします MirrorAndVault ポリシーの場合は、SnapMirror ラベルが「bi-monthly」のソース Snapshot コピーを照合する「bi-monthly」というルールを作成できます。
- 「me-vault」ポリシータイプのカスタムポリシーの場合は、「bi-weekly」というルールを作成し、ソース上の Snapshot コピーと「bi-weekly」 SnapMirror ラベルを照合します。

ステップ

1. ポリシーのルールを定義します。

```
snapmirror policy add-rule -vserver SVM -policy policy_for_rule -snapmirror
```

```
-label snapmirror-label -keep retention_count
```

コマンド構文全体については、マニュアルページを参照してください。

次の例は、SnapMirrorラベルのルールを追加します `bi-monthly` をデフォルトに設定します `MirrorAndVault` ポリシー：

```
cluster_dst:> snapmirror policy add-rule -vserver svml -policy  
MirrorAndVault -snapmirror-label bi-monthly -keep 6
```

次の例は、SnapMirrorラベルのルールを追加します `bi-weekly` カスタムに `my_snapvault` ポリシー：

```
cluster_dst:> snapmirror policy add-rule -vserver svml -policy  
my_snapvault -snapmirror-label bi-weekly -keep 26
```

次の例は、SnapMirrorラベルのルールを追加します `app_consistent` カスタムに `Sync` ポリシー：

```
cluster_dst:> snapmirror policy add-rule -vserver svml -policy Sync  
-snapmirror-label app_consistent -keep 1
```

この SnapMirror ラベルに一致する Snapshot コピーをソースクラスタからレプリケートできます。

```
cluster_src:> snapshot create -vserver vs1 -volume voll -snapshot  
snapshot1 -snapmirror-label app_consistent
```

デスティネーションでローカルコピーを作成するスケジュールを定義します

SnapVault 関係とユニファイドレプリケーション関係の場合は、最後に転送された Snapshot コピーのコピーをデスティネーションで作成することによって、更新した Snapshot コピーが破損する可能性を防ぐことができます。この「ローカル・コピー」はソース上の保持ルールに関係なく保持されるため、元は SnapMirror によって転送された Snapshot がソースで使用できなくなった場合でも、そのコピーをデスティネーションで使用できます。

このタスクについて

ローカルコピーを作成するスケジュールはで指定します `-schedule` のオプション `snapmirror policy add-rule` コマンドを実行します

ステップ

1. デスティネーションでローカルコピーを作成するスケジュールを定義します。

```
snapmirror policy add-rule -vserver SVM -policy policy_for_rule -snapmirror  
-label snapmirror-label -schedule schedule
```

コマンド構文全体については、マニュアルページを参照してください。ジョブスケジュールの作成方法の例については、を参照してください ["レプリケーションジョブスケジュールを作成します"](#)。

次の例は、ローカルコピーを作成するスケジュールをデフォルトに追加します MirrorAndVault ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror policy add-rule -vserver svm1 -policy  
MirrorAndVault -snapmirror-label my_monthly -schedule my_monthly
```

次の例は、ローカルコピーを作成するスケジュールをカスタムのに追加します my_unified ポリシー：

```
cluster_dst::> snapmirror policy add-rule -vserver svm1 -policy  
my_unified -snapmirror-label my_monthly -schedule my_monthly
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。